

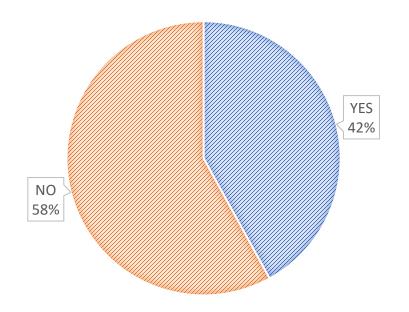


英国ロックダウンによる制限が完全解除となり、また国内のワクチン接種率も高まる昨今、自宅勤務からオフィスへ 戻る動きが増えてきています。

弊社では、2021年7月に、弊社候補者を対象に今後の働き方について、どのように考えているか調査を行いました。

今回はそのまとめをお届けします。

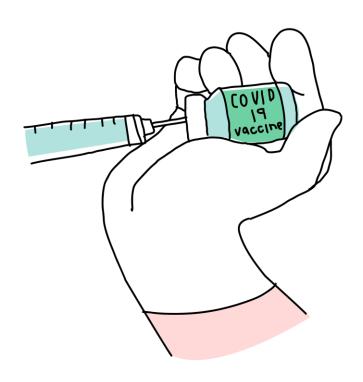
オフィスへの通勤を希望していますか? すでに通勤している場合、出社に満足していますか?



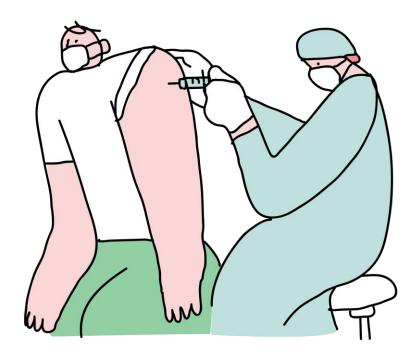
58%がオフィスに戻ることに対し否定的であると回答しています。



61% が、オフィスに戻るにあたり、ワクチン接種を求めてくるであろうと考えています。



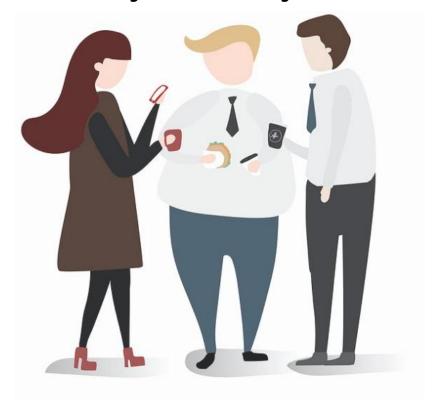
54% が、ワクチンを打っていない同僚がいる状況でオフィスに戻ることに不満を持っています。



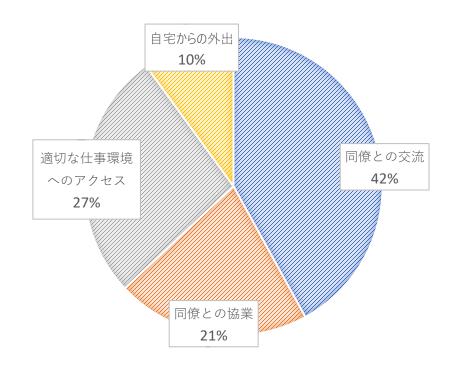


オフィス出社にあたり、候補者が最も望んでいるものは同僚との交流(**42%**)やコラボレーシ(**21%**)という結果になりました。

They've missed you!



オフィス通勤・出社を希望するまたは満足している場合、その理由は何でしょうか?





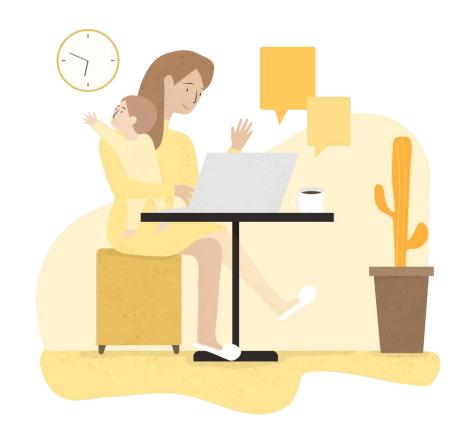
実に94%の候補者がリモートワークの継続を期待しています。

ただし、毎日自宅勤務ではなく、**74%**が週2日程度の自宅勤務を希望しています。

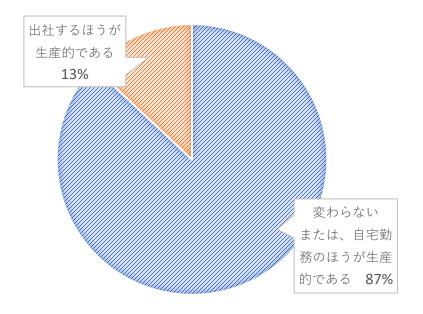


自宅勤務が選択できなくなってしまう場合、約半数が転職を考慮すると 回答しました。

また、新たに仕事を探す場合は、78%が自宅勤務の選択肢があることを条件としており、全く気にしないと回答したのはわずか4%でした。



自宅勤務においてもオフィス勤務と生産性は、ほぼ変わらず (87%) 生産性が下がったと回答したのは7%にすぎません。



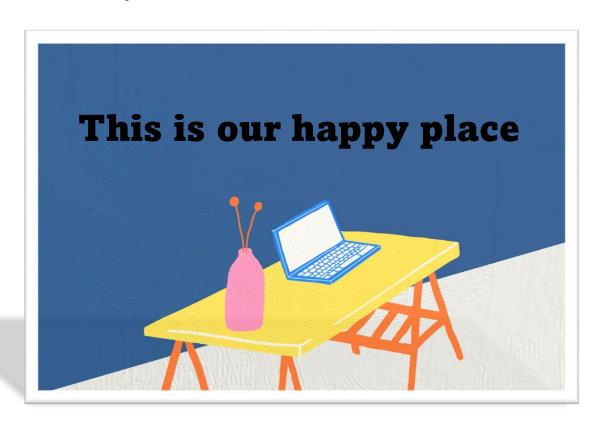
また9割の回答者が、リモート環境でも上司とのコミュニケーションに特に問題はなかったとしています。



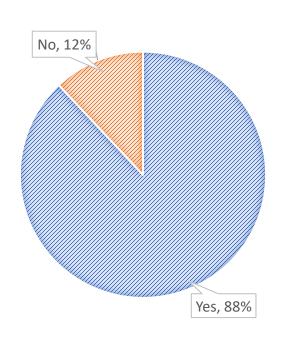


ロックダウン以前の仕事の満足度が48%であったのに対し、リモートワークが始まってからの満足度は66%に上昇しました。

リモートワークで仕事の満足度が下がったのは全体の10%以下でした。













まとめ

半数を超える候補者が、オフィスに戻ることに対して懐疑的です。

COVID 感染の可能性もその理由の一つで、ワクチン接種が完全に終了するまで待ちたいと考えているようです。

リモートワークそのものは生産性や仕事に対する満足度を向上させ、9割近くの回答者がリモートとオフィス勤務を組み合わせたハイブリッド型の勤務を希望しています。

次回転職する際には、約8割がリモートワークの選択 肢があるかどうかを重視するとしています。



本件に関するお問い合わせは 担当のコンサルタントまでお気軽に お問い合わせください。

Tel: 020 7367 0073 (日本語)

teamjapan@people-first.co.uk

www.people-first.co.uk

